

姫路市におけるクロコノマチョウの  
採集記録二例  
広畑 政巳

1951年の県下での初記録以来1970年代前半までの二十数年間は十数例の採集記録しかなく、県下において本種は迷蝶として扱われていた。しかし1970年代後半からは毎年採集されるようになり、それも県南部の地域から但馬に至るまで採集記録が見られるようになった。特に近年ではその数と地域が著しく増え、越冬個体の採集記録も毎年聞くようになり、県下では確実に土着し、珍しい種ではなくなってきた。

姫路市においてもこれまで十数カ所での採集記録が報告されているが、報告されていない新しい記録として次の二例を報告する。

<採集記録>

姫路市六角 1♂ 24-VI-2000 広畑政巳  
姫路市緑台 若令幼虫5頭 31-VII-1999 広畑政巳

(HIROHATA MASAMI 姫路市白鳥台3-11-8)

冬季にアサギマダラの蛹を発見  
広畑 政巳

アサギマダラの越冬の状況を南光町船越、加美町金蔵山、福崎町七種山、相生市能下などで観察しているが、越冬の形態はいずれの地も若令幼虫である。温暖な地域では成虫越冬も確認されているようであるが、兵庫県下では幼虫以外での越冬は知られていない。

筆者は香寺町相坂にて2000年1月3日に本種の越冬調査を行った際キジョランで数頭の若令幼虫と生蛹一頭を確認した。蛹は確認の際、葉から落ちてつぶれたのでその後の経過は確認できなかったが蛹化したばかりの蛹であった。

普通では考えられないことであるが暖冬の影響ではないかと思われる。珍しいので報告をしておく。情報をご提供いただき調査にも同行いただいた木村三郎氏にお礼申しあげる。

(HIROHATA MASAMI 姫路市白鳥台3-11-8)

神戸市西区における  
クロコノマチョウの1年の記録  
近藤 伸一

本年は神戸市西区榎谷町寺谷において、月3回の割合で蝶類の定点調査を行っているが、春から秋にかけてクロコノマチョウを確認することが出来た。近年当地域では毎年のように成虫が確認されており、また一年を通じた観察でも春、夏、秋と成虫が見られることから当地域では土着しているものと思われる。以下に採集・観察記録を報告する。場所は全て榎谷町寺谷、調査日は2000年4月9日から11月3日の間、---は成虫が見られなかったもので、観察者は全て筆者である。

調査記録

4月9日 --- ・4月20日 1ex. ・4月22日 2ex.  
5月4日 1ex. ・5月14日 1ex. ・5月21日 ---  
6月4日 --- ・6月18日 --- ・6月26日 ---  
7月1日 --- ・7月14日 1ex. ・7月23日 1ex.  
8月5日 --- ・8月12日 --- ・8月26日 1ex.  
9月2日 2♀ ・9月17日 1♀ ・9月24日 1♀  
10月1日 --- ・10月15日 ---・11月3日 3♂3♀  
なお9月2日に採集した♀から採卵し、野外で飼育したが、10月末までに全て羽化した。

(KONDO SHINICHI

神戸市西区岩岡町岩岡619-57)

トゲナナフシの採集記録  
柴田 剛

トゲナナフシ *Neohirasea japonica* De Haan は、兵庫県版レッドデータブックでCランクに位置づけられているが、兵庫県下にはかなり広く生息すると思われるにもかかわらず、その採集記録がほとんど報告されていない。

兵庫県内の2か所で採集しているので、ここに報告しておく。

- 1 明石市明石公園 1♀ 30. X.1999  
城跡のアベマキの幹にとまっていたもの
- 2 篠山市殿町 1♀ 24. K.2000  
山すその農業用倉庫の軒下にいたもの

(SHIBATA TAKESHI 明石市太寺天王町2970-7)